

早稲田大学 文学研究科
修士課程 入試問題の訂正内容

<一般入試 中国語中国文学コース>

【専門科目】

●問題冊子1ページ : 問二 [イ] 4行目

(誤)

| 款

(正)

款 |

(左傍線を右傍線に訂正)

●問題冊子1ページ : 問二 [イ] 6行目

(誤)

| 當

(正)

當 |

(左傍線を右傍線に訂正)

以上

二〇二四年度

早稻田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

中国語中国文学コース

※解答は別紙(縦書)

「問一」～「三」の回答順は自由でよいが、必ず問の番号を記してから答えること」

問一 次の十五項目の中から十項目を選び、ごく簡潔に説明せよ。

(時代の分かるものは必ず時代を記すこと)

ア	詩話	イ	琵琶記	ウ	韋応物	エ	意味役割	オ	サイレントウェイ(Silent Way)
カ	楚辞	キ	陶晶孫	ク	山海経	ケ	朝花夕拾	コ	全濁・次濁
サ	八〇後	シ	昆山腔	ス	永明体	セ	韓門詩人	ソ	手続的記憶(Procedural memory)

問二 次の「ア」「イ」のうち、いずれか一つの問題を選んで解答せよ。

「ア」次の文章を読んで、全文を日本語に訳せ。

東廊之南素和尚院。庭有青桐四株、素之手植。

元和中、卿相多遊此院。桐至夏有汗、汚人衣如輶脂、不可浣。昭國東門鄭相、嘗與丞郎數人避暑、惡其汗、謂素曰、「弟子爲和尚伐此樹、各植一松也。」及暮、素戲祝樹曰、「我種汝二十餘年、汝以汗爲人所惡、來歲若復有汗、我必薪之。」自是無汗。寶曆末、予見說已十五餘年無汗矣。素公不出院、轉『法華經』三萬七千部。夜嘗有貉子聽經、齋時鳥鵲就掌取食。

長慶初、庭前牡丹一朵合歡。有僧玄幽題此院詩、警句曰、「三萬蓮經三十春、半生不踏院門塵。」

(『西陽雜俎』續集卷之五「素和尚」)

【注】

東廊之南：長安の大興善寺の東廊の南。輶：樹木名。昭國東門鄭相：長安昭國坊の東門に住む宰相鄭綯。

丞郎：ともに官名。祝：呪。見説：聞説。轉：誦。玄幽：仏僧名。

「イ」次の文章を読んで、傍線部①②③を日本語に訳せ。

話說登州管下一個地名市頭鎮，居民稠密，人家并靠河岸築室。爲惡者多，行善者少。惟有鎮東崔長者好善布施，不與人爭。娶妻張氏，性情溫柔，治家勤儉。所生一子名崔慶，年十八歲，聰明穎達，父母惜如掌上之珠。①忽一日有個老僧來家抄化道：「貧僧是五台山雲遊僧家，聞府中長者好善，特來化齋飯一餐。」崔長者整衣冠出，延那僧入人中堂坐定，崔長者納頭便拜道：「有失款迎，萬勿見罪。」那僧人連忙扶起道：「貧僧不識進退，特候員外見一面。」長者大悅，便令做齋款待僧人，極其豐厚。長者席上問其所來，僧人答以：「雲遊到此，要見員外有一事稟知。」長者舉手請道：「上人若要化緣或化齋，老拙不敢推阻。」②僧人道：「足見長者善心。貧僧不爲化緣而來。即日本處當有洪水之災，員外可預備船隻伺候走路，敬以此事告知，餘無所言。」長者聽罷，連連應諾，便問道：「洪水之災何時當見？」僧人道：「但見東街寶積坊下那石獅子眼中流血，便要收拾走路。」長者道：「既有此大災，當與鄉里說知。」僧人道：「你鄉皆爲惡之徒，豈信此言；就是長者信我逃得此難，亦不免有苦厄累及。」長者問道：「苦厄能喪命否？」僧人道：「無妨，將紙筆來，我寫幾句與長者牢記之。」

天行洪水浪滔滔，遇物相援報亦饒；只有人來休顧問，恩成免債苦監牢。

③長者看了不解其意。僧人道：「後當知之。」齋罷辭去，長者取過十兩花銀相贈。和尚道：「貧僧雲遊之人，縱有銀兩亦無用處。」竟不受而去。

(『龍圖公案』卷之二「石獅子」)

問三 次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

- (1) 「」で囲まれたA・Bの部分を日本語に訳せ。
- (2) 波線部①と②の現代中国語音をピンインで記せ。(声調符号も含む。横書きすること)

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

——ここから記入すること——

中国語中国文学 専門

総 点

--

(裏へ続く)

--

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(次頁へ続く)

